

家庭教育応援NEWS

右のQRコードから、閲覧・ダウンロードができます。



福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

～家庭教育支援者南会津地区研修会～ ①

6月28日(日)御蔵入交流館(南会津町)において、「家庭教育支援者南会津地区研修会」を行いました。当日は、親子21組、家庭教育支援者等も含めて約80名の参加がありました。

親子 de ワークショップ

科学の不思議に夢中! ムシテックワールド出前講座を開催

【サイエンスショー&工作活動】 ムシテックワールド 泉 仁行 様

(公財)ふくしま科学振興協会ふくしま森の科学体験センター(ムシテックワールド)の泉仁行氏を講師にお迎えし、体験型ワークショップを開催しました。

ムシテックワールドは、昆虫の生態や科学の原理、ものづくり体験などを通して科学の楽しさを学び、身近な生活や環境を見直すきっかけを提供する施設です。今回は、科学の魅力を体感できる「サイエンスショー」と、身近な材料を使った「親子工作」を行っていただきました。

サイエンスショーでは「空気」をテーマに、空気の力で物を浮かせたり、大きな煙の空気砲を放ったりと、驚きの実験が盛りだくさんでした。子どもたちは目を輝かせながらショーを楽しみ、科学への関心を深めているようでした。

また、工作活動では段ボールやプラスチックコップを使い、親子で協力しながら作品づくりに挑戦しました。完成に向けて一緒に工夫する中で、あたたかな笑顔があふれる充実した時間となりました。



<参加者の声>

- ◇ 子供がワクワクするような内容でした。
- ◇ 空気砲は三角の形で丸い形になるのが不思議でした。
- ◇ 空気の力だけで子供二人が浮くなんて、びっくりしました。
- ◇ いろいろな不思議な事象を見せていただき、子供はとても喜んでいました。科学への興味が高まりました。
- ◇ 親子でプラバンを作れたので、良い思い出になりました。ありがとうございました。

家庭教育応援NEWS

右の QR コードから、閲覧・ダウンロードができます。



福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

～家庭教育支援者南会津地区研修会～ ②

『子どもに伝わる魔法の「ほめ方」「叱り方」～言葉が変われば心が動く～』

親子カウンセラー・言葉がけコーチ ママの学校主宰 島谷留美 氏

「家庭教育支援者南会津地区研修会」の後半は、島谷留美氏を講師にお迎えし、親の学びの場として「子供との関わり方」をテーマに講義と演習が行われました。

研修では、家庭内でのコミュニケーションの取り方について具体的な指導がありました。「は・ふ・へ・ほ + そ」を使った効果的な話の聞き方や、無意識に使ってしまいがちな「レッテル用語」の見直し、また、子供を責める「あなたメッセージ」ではなく、事実と自分の気持ちを伝える「わたしメッセージ」の作り方などを学びました。さらに、学んだ内容を演習で実践したことで、受講者の方々の理解がいっそう深まりました。

「は・ふ・へ・ほ+そ」を使った効果的な聞き方とは？

は：はい

ふ：ふ～ん

へ：へー

ほ：ほー

そ：そうなんです、それから



子供が主役となる。話しているうちに、子供が自分で考え、結論を導き出すようになる。

レッテル用語とは？

親が勝手に判断して使っている使用を控えたい言葉

(例)

いつもいつも、また、案の定、だらしない、意地悪だ、無理よ、さぼっている、やっぱり、そんなんだから〇〇なのよ、続かないよね・できないでしょ、



子供のやる気を奪うだけになりがち。

「あなたメッセージ」から「わたしメッセージ」への転換とは？

(例)朝 7:30 に送ってと言われた時

●あなたメッセージ

「いつまでも YouTube 見てるから寝坊したんでしょ。」

○わたしメッセージ

「今言われると、8:30 からの仕事に間に合わないから困るんだよね。」



事実と怒る理由、気持ちを伝えることで、子供の自主性が育つ。



<参加者の声>

- ◇ わたしメッセージを実践しようと思います。
- ◇ 先生のお話を聞き、購入した本を熟読して、少しずつ実践していきたいです。
- ◇ 感情的にぶつかるのではなく、学んだ方法を実践していきたいです。
- ◇ 「は・ふ・へ・ほ+そ」を使った聞き方を実践することで、話す側の子どもが主役になり、自分で考え、結論を出すようになるという話が印象に残りました。実践したいです。
- ◇ 今まで「あなたメッセージ」で伝えがちでしたが、これからは「わたしメッセージ」で伝えられるようになりたいです。

来年の研修会もぜひご参加ください！

